にいみ 市議会だより

2023年2月
第20号

新見市議会広報紙 12月定例会

目次

② 12月定例会審議内容・12月定例会審議結果
③ 各委員会報告
⑦ 特別委員会の設置・3月定例会（予定）
⑧ 一般質問
⑭ にいみ市議会だよりの表紙写真を募集
⑮ 議長等の活動報告
⑯ 市民の声・編集後記

如月（御洞の滝 ＝ 大佐大井野）

撮影者：生田二美さん（新見）

令和4年12月 定例会審議内容

令和４年12月新見市議会定例会は、11月29日から12月21日までの23日間開催し、次の議案を審議しました。

●「新見市通学バス運行条例の一部を改正する条例」など条例19件
●市民生活や医療福祉、農業分野のエネルギーなど物価高騰対策を中心にした「令和４年度新見市一般会計補正予算（第７号）」など予算９件
●「新見市健康増進施設の指定管理者の指定について」など議案13件
●委員会発議による「新見市議会の個人情報の保護に関する条例（案）」など２件

以上、計43議案を原案のとおり可決しました。なお、議案第12号「新見市移住交流支援センターの指定管理者の指定について」は、「一層の運営改善や他の受託業務の推進を図ること」などを求める附帯決議を附し原案可決しました。

また、議案第18号「新見市哲西道の駅鯉が窪の指定管理者の指定について」も、「指定管理料の積算根拠、各施設の利用実績の明確化、地域連携の強化と施設利用の一層の促進」を求める附帯決議を附し原案可決しました。

令和4年12月 定例会審議結果

●議案の部

条 例	19件すべて原案可決	予 算	９件すべて原案可決
その他議案	13件すべて原案可決	発 議	２件すべて原案可決

●議案に対して賛否が分かれたもの

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
議案番号	議員名／議案名	土屋将	林司朗	峠田一也	仲田芳人	西川照雄	岡崎裕生	古川英明	宮本英基	岩田秀之	藤澤正則	林光和	塩飽満路	橋本亨子	榎日出男	小河俊文
条例第45号	新見市公共下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	欠
条例第46号	新見市公共浄化槽等整備排水処理施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	欠
条例第47号	新見市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	欠
条例第48号	新見市小規模集合排水処理施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	欠
議案第12号	新見市移住交流支援センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

※「○」は賛成、「×」は反対。「欠」は欠席。議長は表決に加わっていません。

各委員会報告

総務消防常任委員会

個人情報保護に関する条例など12議案を審査

総務消防常任委員会を12月12日に開催し、付託された次の12の議案の審査を行いました。

付託事件の審査

- ●条例第30号　新見市地域づくりセンター条例の一部を改正する条例
- ●条例第31号　新見市市民センター条例の一部を改正する条例
- ●条例第32号　新見市個人情報保護法施行条例
- ●条例第33号　新見市個人情報保護制度運営審議会条例
- ●条例第34号　新見市個人情報保護不服審査会条例
- ●条例第35号　個人情報の保護に関する法律の改正に伴う関係条例の整備に関する条例
- ●条例第36号　新見市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
- ●条例第37号　地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ●条例第38号　新見市職員給与条例等の一部を改正する条例
- ●議案第12号　新見市移住交流支援センターの指定管理者の指定について
- ●議案第13号　新見市哲西本区生活改善センターの指定管理者の指定について
- ●議案第14号　新見市学術交流センターの指定管理者の指定について

以上の議案について、所管課から議案についての説明を聴取し、慎重に審査した結果、議案第12号「新見市移住交流支援センターの指定管理者の指定について」を除く11議案については、反対意見はなく原案のとおり可決することに決定しました。

議案第12号については、さらに審議に慎重を期すために現地調査を行い、現在の指定管理者（次期指定管理候補者）と執行部より、管理・運営に関する説明を聴取しました。

同議案の審査については、労務管理や車両等の走行管理のチェック体制や委託事業の内容などについて質疑がなされました。また、移住交流支援センターや委託事業のあり方についても、十分検討すべきとの意見が出されました。審査については、反対討論はなかったものの、審議の経過で出された意見を附帯決議（案）として附し、本会議において可決されました。

▲神郷油野にある移住交流支援センター（旧油野小学校）

報告事項について

執行部からの報告について、審議しました。主な報告の内容は次のとおりです。

- 市役所駐車場用地の購入について
- 防災訓練の実施結果について
- 市長とフリートークについて
- 第3次新見市総合計画等の外部評価の結果について
- 市民アンケートの実施について
- 地域運営組織の設立について（追加）
- 移住フェアへの出展状況について
- 情報連絡用スマートフォンアプリについて
- 個別施設計画の一部改正について

文教福祉常任委員会

新見市健康増進施設（げんき広場にいみ）の指定管理者の指定や改修工事請負契約の締結などを審査

文教福祉常任委員会を12月13日、及び12月21日に開催し、付託された7議案を審査しました。また、執行部からの報告事項と委員会からの調査事件を行いました。主な内容を紹介します。

付託事件の審査

- 条例第39号　新見市立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例
- 条例第40号　新見市通学バス運行条例の一部を改正する条例
- 条例第41号　新見市公民館条例の一部を改正する条例
- 議案第15号　新見市神郷神楽の館の指定管理者の指定について
- 議案第21号　令和4年度西方小学校大規模改修工事請負契約の変更について
- 議案第22号　新見市健康増進施設の指定管理者の指定について
- 議案第23号　令和4年度新見市健康増進施設改修工事（建築工事）請負契約の締結について

以上7件の議案について、各所管課から提案説明を受け、各議案について慎重に審査した結果、原案のとおり可決することに決定しました。

報告事項について

- 生涯学習課から「第46回新見市新春ロードレース大会」の開催
- 環境課から「第3次新見市環境基本計画」の策定状況
- 交通対策課から「地域公共交通計画」の策定状況
- 福祉課から「住民税非課税世帯に対する緊急支援給付金」の支給状況
- 健康医療課から、「新型コロナワクチン」の接種状況、「げんき広場にいみの改修工事」の概要、「げんき広場にいみ」の指定管理者の選定
- 子育て支援課から、「出産・子育て応援交付金」の執行準備について

調査事件について

委員問　国が示す伴走型の子育て支援と、現在本市が行っている子育て支援の違いはあるのか。

答弁　国が新たに示している妊娠7～8か月頃の面談、アンケート調査を追加するとともに、経済的な支援も一体化し、さらに安心して出産・子育てができる環境整備に努めたい。

委員問　介護保険料改定に向けて、段階設定をもっと細分化して負担軽減を図れないか。また、要介護1、2の人を自治体での総合事業に移行する点をどのように検討しているか。

答弁　現在、本市では介護保険の段階設定を11段階に設定しているが、今後、高齢者福祉計画介護保険事業計画策定委員会で検討する。総合事業への移行については、ヘルパー不足の課題も含め、検討していきたい。

委員問　現在実施されている乗合タクシーを市内の病院や商業施設まで運行できないのか。また、路線バスと「ら・くるっと」が競合するような点を早期に改善する必要があるのではないか。

答弁　乗合タクシーは、公共交通空白地域の有償運送事業で行っているのでご理解いただきたい。改善については、できる点から対応したい。ただ、交通会議、運輸局の手続き、バスのダイヤ改正の時期等を考慮しなければならない改善点については、一定期間が必要となってくる。

産業建設常任委員会

下水道料金改定、関連4条例案を可決

産業建設常任委員会を12月14日に開催しました。今定例会の産業建設常任委員会に付託された事件は、条例7件、議案6件の計13件でした。

付託事件の審査

各議案について執行部の詳細な説明を聴取し、十分な質疑を行った結果、条例第45号から同第48号の4議案及び議案第18号を除く8議案は、反対討論の発言はなく、全会一致で原案のとおり可決することに決定しました。

●条例第45号　新見市公共下水道条例の一部を改正する条例

●条例第46号　新見市公共浄化槽等整備排水処理施設条例の一部を改正する条例

●条例第47号　新見市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

●条例第48号　新見市小規模集合排水処理施設条例の一部を改正する条例

条例第45号から同第48号については、「現状の世界情勢も含め、生活物資の急激な高騰というなかで、この時期に市民生活の負担につながる改正のため、できれば他の施策も考慮し、市民生活に支援を行う政治的配慮が必要ではないか。」という反対討論がありましたが、採決により、賛成8反対1で原案のとおり可決することに決定しました。

●議案第18号　新見市哲西道の駅鯉が窪の指定管理者の指定について

議案第18号については、所管課に対し、指定管理料の積算根拠や施設の利用実績を明確にすることから、事業報告の公開などを求めること。指定管理候補者に対しては、地域連携の強化と施設利用の一層の強化を図ることを求める内容を骨子とした附帯決議（案）を附すことを決定し、全会一致で原案のとおり可決することに決定しました。

報告事項について

●商工観光課

・新見市新見千屋温泉いぶきの里の入浴料金等の改定について　外1件

●農業畜産振興課

・千屋牛増頭奨励金制度の見直しについて　外4件

●農業委員会

・新見市農業委員会委員（18名）及び農地利用最適化推進委員（10名）の募集について

●都市整備課

・新見駅周辺まちづくりを推進する地域おこし協力隊の募集について　外1件

調査事件について

委員問　公共施設のエネルギーの確保について、太陽光発電など行政としても自前のエネルギーを作って充てる考えはないのか。

答弁　施設の統廃合を進め、効率化を高めてきたが、このところ電気代や資材費が高騰している状況にある。電気代については、太陽光発電など自然エネルギーを活用した節電対策を検討している。太陽光発電に関しては、本市で進めることも考えられるが、ＰＰＡ（電力購入契約）事業での活用も検討している。

※付託事件の審査について

条例第45号から同第48号は、下水道料金改定についての審査でした。

執行部の「現行のサービス内容を維持し、安定した運営を行うために、使用料収入により経費を賄うという公営企業の独立採算の原則や受益者負担の原則を踏まえ、原油価格の高騰など先行きが見通せないなかであるが、将来世代に負担を先送りすべきではないという判断から、今回、やむを得ず料金改定をするものである。」との説明に対し、委員会では、合理的理由があると認め、賛成多数で原案のとおり可決することに決定しました。

予算決算常任委員会

物価高騰や、出産・子育て応援等の補正予算を可決

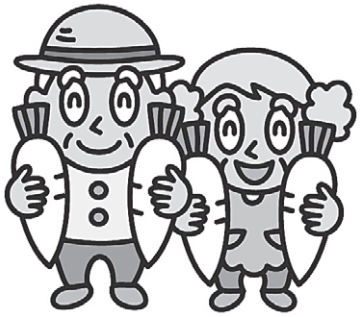
予算決算常任委員会を12月15日、21日に開催し、12月議会に上程された9議案を審査し、すべて原案のとおり可決することに決定しました。主な内容を紹介します。

付託事件の審査（予算）

●予算第31号　令和4年度新見市一般会計補正予算（第7号）

◎にーみんポイント付与事業では、エネルギー・食料品価格等の物価高騰が続いているため、新見市オリジナルＩＣＯＣＡ（イコカ）を活用し、現在計上しているチャージ分８千ポイントに3千ポイントを追加付与することで市民の生活支援と市内経済の循環の創出を行うため８５４０万円を追加。

◎園芸肥料農薬高騰対策支援事業では、肥料・農薬価格が高騰している園芸農家（ぶどう・トマト・もも・花き・大根生産者）に対して、営農継続に必要な肥料・農薬購入費の一部を支援し９４０万円を追加。



◎グリーン農業推進事業では、肥料価格が高騰し、生産コストが上昇している農家の負担軽減とクリーンな栽培体系への転換を図るため、化学肥料の低減に向けて取り組む農家に対して、肥料価格高騰分の一部を助成するため１４９０万円を追加。

◎医療機関等エネルギー価格高騰緊急支援事業では、エネルギー価格高騰等の影響を受

けている医療機関や障がい福祉・介護サービス事業所等に対して、負担を軽減するため価格高騰分の一部を支援し、医療機関等に１１１０万円、障がい福祉サービス事業所等に４００万円、介護サービス事業所に１２１０万円を追加。

◎本庁舎附属棟整備事業では、老朽化が進んでいる新見市庁舎西棟を解体し、防災拠点となる災害対策本部会議室や備蓄倉庫等を備えた新棟を建設するため、西棟解体工事、新棟実施設計に６６８０万円を追加。令和５～６年度に新棟建設工事。

▲現在の新見市庁舎西棟（新棟予定地）

●予算第39号　令和４年度新見市一般会計補正予算（第８号）

◎出産・子育て応援事業では、妊婦や子育て家庭に対し、妊娠・出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と、妊娠・出産時の経済的支援を一体として実施するため、対象者と面談等を実施し、妊娠届出時に出産応援ギフト（５万円）、出生届出時に子育て応援ギフト（５万円）を支給するため１５２０万円を追加。

可決した令和４年度新見市一般会計補正予算（第７号）では、歳入歳出に７億４６３７万４千円、令和４年度一般会計補正予算（第８号）では歳入歳出に１５２０万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ２８０億８１９３万４千円とした。

新しい特別委員会が設置されました

議員定数等検討特別委員会

人口減少が進む本市において、人口減少の克服と地方創生に対して、市民、行政、議会が一丸となって取り組んで行くことが急務となっています。

そのため、本市議会がそれらの諸課題に対し、自主性や独自性をもって対応していけるよう、望ましい議員定数や報酬等について調査検討を行います。

委員長　小河　俊文
副委員長　橋本　亨子
委員　全員（議長を除く）

3月定例会（予定）

2月20日	（月）	本会議開会
3月2日	（木）	本会議・代表質問・一般質問・議会運営委員会
3日	（金）	本会議・一般質問
6日	（月）	本会議（予備日）
7日	（火）	総務消防常任委員会
8日	（水）	文教福祉常任委員会
9日	（木）	産業建設常任委員会
10日	（金）	予算決算常任委員会
13日	（月）	予算決算常任委員会
14日	（火）	予算決算常任委員会
15日	（水）	議員定数等検討特別委員会
16日	（木）	議会広報特別委員会
17日	（金）	委員会（予備日）
20日	（月）	議会運営委員会
23日	（木）	本会議閉会

12月定例会

一般質問

※質問した議員が自ら原稿を執筆しています。

ふるかわ　ひであき
古川 英明
議員

緊急時の安全な対応の在り方について

問 市内の公的機関及び民間におけるＡＥＤ（自動体外式除細動器）の設置場所はどうなっているか。

答 小中学校や公民館など、82か所・88台を設置している。民間については把握していないが、今後は民間の設置状況等の把握に努めたい。

問 ＡＥＤは市内の全ての地域をカバーできるよう適切に設置しているか。

答 多くの市民が利用する施設を中心に設置しているが、設置が必要と思われる地域があれば、所管課に相談してほしい。

問 ＡＥＤを設置している民間の協力を得て、真庭市の「まちかど救急ステーション」のようなシステムを構築したらどうか。

答 緊急時の対応は命に関わる問題なので、他自治体の参考になる取組を精査し、取り組めるところは参考にしたい。

問 現在のドクターヘリの場外離着陸場に課題はないか。

答 場外離着陸場33か所は、近隣他市より多いが、より安全に使用できる専用の場外離着陸場を調査研究したい。

▲ＡＥＤ
（自動体外式除細動器）

ごみ減量化及び資源ごみ回収の推進について

問 ごみ減量化を進めていく上での主たる障壁は何か。

答 環境に関する市民アンケートの結果、生ごみの堆肥化や不要品の再利用の実行度が低いことが要因と考えられる。

問 ごみ減量化モデル地区を指定するなど、思い切った施策が必要ではないか。

答 提案については、引き続き研究していきたい。

問 資源ごみは、今後新たな回収体制の予定はないか。

答 現在の分別に、将来、プラスチック使用製品及び容器包装プラスチックの追加を検討している。

【その他の質問項目】

令和４年度行政評価で低評価とされた６実施計画事業の課題と今後の推進の在り方について説明を求めた。

いわた　ひでゆき
岩田 秀之
議員

地域での猫対策について

問 飼い主のいない猫（野良猫）による糞尿被害や敷地内での出産などで迷惑している人からの相談件数はどれくらいあるのか。

答 野良猫に関する相談件数については、月に１～２件程度ある。

問 現在まで行政として、どのような対応をしたのか。

答 野良猫被害に関する相談があった場合は、丁寧な聞き取りや現地確認等により状況把握に努めている。その際には、地域の方に県の動物愛護センターを紹介している。また、市報や告知放送等で猫の飼育マナーに関する広報も行っている。

問 野良猫を増やさない対策について、具体的にどのように考えているのか。

答　野良猫を増やさないためには、飼い猫は最後まで適切に飼うこと、野良猫へは無責任なエサやりをしないこと等、基本的な行動を地域内で共有して頂くことが、糸口になるものと考えている。引き続き、県の動物愛護センターと連携しながら、地域猫活動などの普及啓発に努めていく考え。

問　市独自として不妊去勢手術に対する助成は考えていないのか。

答　市独自の助成は考えていないが、まずは県の助成制度の周知を優先していく。

コロナ禍における帯状疱疹ワクチン接種について

問　他の自治体でも助成制度を実施している所もあり、本市として帯状疱疹ワクチン接種への公費助成費用を考えていないのか。

答　国においては、毎年、帯状疱疹ワクチンの定期接種化に向けた検討が行われているが、具体的な方向性は出ていない。本市では、帯状疱疹ワクチンの接種費用助成についての事業化は考えていないが、今後、国の動向を注視していきたい。

土屋（つちや）　将（すすむ）
議員

子育てをしている女性、高齢者への就労支援対策について

問　子育てをしている女性、高齢者への就労支援について市はどのような対策を行っているか。

答　子育てをしている女性の就労支援については、児童扶養手当受給者を対象に、世帯の自立支援を図るため、就労のための資格取得を支援する給付事業を行っている。また母子・父子自立支援員がハローワークと連携しながらニーズに応じたプログラムを策定し、継続的な就労支援を行っている。特に就学前の乳幼児を養育している人には、ひとり親家庭に限らず求職活動中も保育所などに入所できるなど、就労しやすい環境整備を行っている。高齢者へはシルバー人材センターを支援することで多様なニーズに応じた就労機会の確保に努めている。

問　奈義町の「しごとえん」の取組は、フルタイムで働けない人に向けたきめ細やかな就労支援を行っているが、本市においても同様の取組を行ってはどうか。

答　本市の就労支援については、求職者向けに市内企業の魅力を分かりやすく発信する取組や、ＩＪＵターン就職相談窓口を設けて、就職相談員がきめ細やかに対応している。今回紹介された他自治体の優良事例についても、今後の参考とする。

本市のオブジェ・モニュメントの作成について

問　本市を若者へＰＲできるオブジェ・モニュメントを作成してはどうか。

答　話題性のあるオブジェやモニュメントの設置は市外から人を呼び込む上で、有効なツールの一つだが市のシンボルにするには市民をはじめ、多くの人に長く親しまれる必要があり、安易に作成することはできない。本市には、すばらしい自然景観などの地域資源があり、その魅力を発信することもできる。様々な手段を講じて本市のＰＲに努めて参りたい。

仲田（なかだ） 芳人（よしと）
議員

交流人口誘導と行政視察受入れの考えについて

問 行政視察受入れをどのように考えているか。また、ウィズコロナを踏まえ、視察と幅広く交流人口の誘導を図ってはどうか。

答 積極的に行政視察を受入れたい。まずは視察に選ばれるよう施策充実に取り組み、ホームページ等の発信の仕方を検討したい。また（各団体の会合や大会なども）市内で開かれると交流人口増大に繋がるので応援したい。

新見藩の歴史を伝える拠点づくりについて

問 新見藩の歴史を顕彰し、誇りや郷土愛を育みながら後世に伝える拠点づくりの考えはないか。

答 歴史を後世に伝えることは使命と思う。拠点は御殿町センターがいいと考えているが、史資料が収まるかを検討し、別施設が必要か否かの判断になる。指摘を元に御殿町周辺のまちづくりの在り方を考えていきたい。

▲新見（岡山地方裁判所新見支部前）にある温故館

新見藩時代の治水利水の歴史資源の文化財指定について

問 丸川松隠先生の造った新見用水や風木谷川、川の流れを変える猿尾、猿屋井堰の間知石の谷張り（かんちいしのたにばり）、新見藩の舩差役を務めた井上家文書など、新見藩の治水利水の歴史資源を文化財指定してはどうか。

答 関連する史料史跡等も多く現存しており、実際に目にすることもできることから、検討の価値がある。

▲市内にある床下水路

林（はやし） 司朗（しろう）
議員

中学校の休日部活動の地域移行についての進捗状況と今後の取組について

問 9月の一般質問以降、検討会議、アンケートは実施されたか。

答 アンケートを実施した。来年1月に県のコーディネーターを招いて第2回検討会議を開催する。

問 中学校としては、休日部活動の地域移行をどのようにとらえられているのか。

答 アンケートによると、教員の個人的な意見としては8割が肯定的である。

問 今後の取組について、具体的にはどのような方向で行っていくのか。

答 課題も多く、すべての部活動を一律に地域移行できるものではないと認識しており、準備が整ったものから順次進めていく。

新見市内の小中学校の不登校の状況について

問 不登校の児童・生徒の推移と現在の状況はどのようになっているのか。

答 増加の傾向にある。全国、県の平均に比較して、高い割合になっており、喫緊の課題である。

問 学校に代わる学びの場も、一つの選択肢としてとらえているが、これについてどう考えるのか。

答 本市では、不登校傾向にある子どもたちが日常的に利用でき、利用を通じて学校への復帰を目指せる場所として適応指導教室「新生塾」を設置している。

新見駅周辺まちづくりについて

問 現在までの進捗状況は、どのようになっているのか。

答 新見駅周辺のにぎわい創出に向けて、ソフト施策から取組を始めた。「まちづくりプラットホーム」の立ち上げに向けた準備も進めている。

問 高梁川河川敷の活用方法についてどのように考えているか。

答 本年10月に親水公園で、にぎわい創出に向けたイベントを開催した。この社会実験の結果などを検証し、引き続き持続可能なにぎわい創出に向けた取組を検討していく。

はしもと　きょうこ
橋本 亨子
議員

インボイス制度について

問 来年10月から実施予定のインボイス制度の周知はどのように行っているのか。

答 周知は国が行っているが、窓口へのリーフレットの設置や市報でも周知していく。

問 登録事業者になれば、免税の特例が受けられなくなり自営業者だけでなくフリーランスの人やシルバー人材センターの会員などにも大きな負担がかぶせられる事になる。中止を求めるべきではないか。

答 小規模事業者への負担緩和の検討が始まっており、結果を注視し、市長会などを通じて要望したい。

学校給食について

問 来年度の保護者負担はどうなるのか。

答 来年度から大佐と哲西の共同調理場を学校給食センターに統合する事で食材費のコスト削減により、保護者負担を増やさないように努める。

問 文科省の調査結果などから無償化の実施が広がっているが、家計負担の軽減に向け、思い切って無償化を実施してはどうか。

答 学校給食法により食材費は保護者負担となっており、実施は考えていない。

問 学校給食法の第11条は、経費の負担区分を明らかにしたものであり、設置者（市長）が保護者に代わって給食費を負担する事を禁止しているものではない。来年度に向け前向きに検討して欲しい。

答 可能という事であり実施しなさいとは言っていない。

国民健康保険事業について

問 来年度の国保税率の見通しはどうか。

答 国保の運営協議会の議論によって決めるのでここでは示せない。

問 均等割りの負担軽減を18歳までに拡大してはどうか。

答 子育て世帯の負担軽減は市長会を通じて国へ要望している。

問 コロナに罹患した場合の傷病手当金の支給対象に事業者も加えるよう改善すべきではないか。

答 市長会を通じて要望している。

たわだ　かずや
峠田 一也
議員

畜産振興について

問 令和4年10月に鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会では、和牛の改良において大きくカーブを切った大会であったが、5年先の北海道大会に向けての準備は進んでいるか。

答　既に、県、畜産協会、市和牛改良組合、ＪＡなどの関係機関と協議を進めているところである。

　千屋牛の改良を進めるための優良精液導入補助事業を行ったり、千屋牛増頭奨励金制度の見直しを行い自家保留牛を新たに補助対象とし、増頭にも繋げていきたい。

▲第12回全国和牛能力共進会

移住・定住対策について

問　現在ＮＰＯ法人に委託している神郷油野の新見市移住交流支援センターの実績が年々減少しているが、費用対効果が低いのではないか。

答　同センターに委託している移住定住支援業務は、施設の管理、移住希望者への情報発信、移住後のアフターフォロー、移住相談会への参加、空き家情報バンクの運営補助、移住相談への対応、オーダーメイドツアーの現地案内など、平日、休日を問わずやってもらっている。

　令和３年度の実績は１世帯２人であるが、令和３年度に移住相談を受けているものの中で今年度になってから６世帯11人が移住している。実績については波があるので、長期的な傾向でとらえていく必要があるものと思われる。引き続き今の体制のままで、全市を挙げて移住定住対策をやっていくつもりである。

　多くの自治体が移住施策に取り組んでいる中で、本市を選んでいただくためには、さらなる情報発信が必要だと考えているので、様々な機会を通じて魅力を最大限に発信したい。

みやもと　ひでき
宮本 英基
議員

市長の公約のヒト・モノ・カネが流入するまちについて

問　２年間、産業振興にどのような政策を実施したのか。

答　この２年間コロナ禍で中小企業を維持することに努力してきた。

問　コロナ禍で中小企業の経営が厳しい状況が続いている中、消防法、建築基準法などの法律を遵守している市内企業を守るためにも支援が必要と考えるが、補助金対応はできないか。

答　市内事業者の実情等を関係機関と連携し、情報収集に努める。また、本市の既存制度や、国県の制度に該当するかなどの相談に応じていきたい。

問　働き手の確保について現在市長は把握しているか。

答　状況は把握している。また、重要な課題だと考えている。

問　人の流入だが、現在でも人口は減っている。今後の働き手を増やす政策は。

答　引き続き既存の事業を充実してまいりたい。また、今行っている事業で十分だとは考えていない。さらなる施策の充実に努めていきたい。

新見オリジナルICOCAの活用について

問　ICOCAカードは、市民の中でポイントカードだと思っている方がいる。毎日使えるようなカードにすべきだと考える。そこで、現金をチャージすると20％のポイントが付く、買い物をすると20％のポイントが付くなどキャンペーンをする必要があると考えるが。

答　効果的な事業を検討し、市内の経済状況を見ながら、必要に応じて実施していきたい。

乗合タクシーについて

問 病院に行くために乗合タクシーを利用したが、上市で市内循環バスに乗り換えて長谷川病院に行っても、帰りはバスがない。特に病院への移動手段は、市民に利用されている中でも必要だと考えるが。

答 病院への移動手段として、公共交通は大きな役割を担っていると認識しており、運行回数や運行ルートも含めて、どのような見直しが可能か検討していく。

にしかわ　てるお
西川 照雄
議員

林業の成長産業化について

問 林業にはさまざまな職種があるが、どの分野の担い手の育成が課題であるのか。行政サイドでどのような視点を持っているのか。

答 「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環サイクルを確立することが重要である。「未来へつなぐ新見の林業会議」では、担い手対策部会を設置し、林業関係者と一体となって取り組む考えである。

問 特に力を入れて育成する必要がある担い手があるとすれば、どの分野であると考えるのか。

答 特に人材育成に重点を置かなければならない分野については、皆伐後の再造林が進んでいないことから、植林、植林後の保育作業を担う人材の確保・育成が重要であると考えている。

問 集会所の改築などに木材利用が考えられるが、今後、身近な公共施設で木材を活用した建築予定はあるのか。

答 今後、公共施設の建築を計画する場合には、新見市内の公共建築物における新見産材などの利用促進に関する方針に基づき、引続き積極的に木材利用を図る考えである。

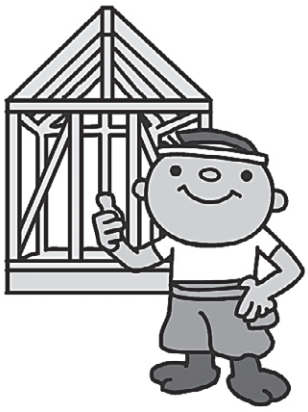
問 森林所有者が造林に対して、できるだけ負担がかからないような具体的な施策を行っているのか。

答 植林への補助を行う新見市植林促進事業や、下刈りの補助を行う新見市森林保育支援事業により積極的な支援を行っている。

住宅増改築助成制度の拡充について

問 新見産材の利用促進を目的とした建築事業者向けの補助制度について、1㎥以上の使用要件を1㎥あたりの使用に改める考えは。

答 補助要件の緩和については、実情に応じた補助制度となるよう検討していく。



おかざき　ひろお
岡崎 裕生
議員

JRローカル線利用促進について

問 新たな利用促進策と国との連携は。

答 引き続き県や沿線自治体と連携し、取組の強化を図りたい。持続可能な鉄道網の確立などについて、県や全国の市長会等を通じて国に要望している。

ゼロカーボンに向けた取組について

問 市内の電気自動車の普及を。

答 今後、法人の電気自動車購入助成を研究する。個人の購入助成については検討する。

問 市内の電気自動車充電スタンドの普及は。

答 道の駅鯉が窪、市役所南庁舎駐車場に充電スタンドの整備を進めている。

問 再生可能エネルギーの活用状況は。

答 電力供給業者が学校給食センターに太陽光発電設備を整備し、新見南認定こども園とあわせて電力を活用する。

本市教育の充実について

問 本市ＧＩＧＡスクール構想は。

答 本市のＩＣＴ教育は県の水準を大きく上回っている。授業では、主体的・対話的学びを実践しており、学びの共同体による共同的な学びを進めていく。

問 インクルーシブ教育の取組は。

答 他の自治体に先駆けて取り組んでおり、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を提供できる体制を整備している。

問 ふるさとキャリア教育の課題は。

答 今後、小学校の郊外活動の交通費補助拡大、他課と連携した事業を企画するなどの工夫を検討する。

問 学校教育並びに本市におけるＳＤＧｓの取組は。

答 学校教育では、持続可能な社会のつくり手としての素養を養うことに重点を置いている。第３次総合計画の行動計画の中で、ＳＤＧｓの理念に沿った行政分野ごとの達成目標を設定しているところである。

新見駅周辺まちづくり基本構想について

問 新見駅周辺のにぎわい創出についての考えは。

答 新見美術館は、移転も含め周辺まちづくりと連携した整備を検討する。にぎわいのある新見駅周辺のまちづくりに、美術館の果たす役割は大きいと考える。

にいみ市議会だよりの表紙写真を募集しています

にいみ市議会だよりの表紙写真を募集しています。（縦写真）

応募者ご本人が新見市内で撮影された写真のうち、未発表のものが対象です。

にいみ市議会だより発行の５月、８月、11月、２月の１か月前を締切とし、１人５点以内とします。

▼応募方法

①応募者の氏名、②住所、③電話番号、④撮影場所を明記のうえ、
写真のデータ（８MB以内）を
メール：「gikai@city.niimi.lg.jp」までお送りいただくか、
写真やデータ等を、〒718-8501 新見市新見310-3
新見市議会事務局までお送りください。

▼注意事項

・表紙写真に採用された方にはご連絡を差し上げます。
・ご応募いただいた写真やデータ等は返却しません。
・肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関しては、応募者ご本人よりご確認ください。これらのトラブルには新見市議会は一切の責任を負いません。

議長等の活動報告

10月５日　松江安来新見間国道昇格期成同盟会定期総会に出席［議長］
８日　新見商工会議所青年部創立30周年記念式典に出席［副議長］
８日～10日　第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会のため出張（鹿児島県）［議長］
12日　岡山県市議会議長会総会に出席（美作市）［議長］
18日～20日　全国市議会議長会研究フォーラムin長野に参加（長野県）［正副議長］
23日　新見ライオンズクラブ認証65周年記念大会に出席［議長］
令和４年度にいみ福祉大会に出席［議長］
28日　議会運営委員会
29日　新見市文学選奨表彰式に出席［副議長］
30日　新見市障がい者家族ふれあいスポーツ大会に出席［副議長］
11月１日　総務消防常任委員会
議会改革推進会議
２日　産業建設常任委員会
６日　千屋野の里特産品うめぇもん市に出席［議長］
７日　新見市老人クラブ連合会会長杯グラウンドゴルフ大会に出席［議長］
文教福祉常任委員会
７日～８日　中国横断自動車道岡山米子線（蒜山ＩＣ～境港間）整備促進総決起大会に出席（東京都）［副議長］

▲中国横断自動車道岡山米子線（蒜山ＩＣ～境港間）整備促進総決起大会

11日　「現代日本画の煌めき」展開会式に出席［議長］
13日　第37回哲西町文化祭開会式に出席［副議長］
11月15日　第12回全国和牛能力共進会報告会に出席［議長］

▲第12回全国和牛能力共進会報告会

19日　ＪＴの森鯉が窪にいみ第１回森林保全活動開会式に出席［議長］
22日　議会運営委員会
議会広報特別委員会
24日　令和４年度新見市政功労者表彰式に出席［議長］
25日　新見地区老人クラブ連合会女性委員会大会に出席［議長］
29日　12月新見市議会定例会本会議（開会）
12月１日　民生委員児童委員及び主任児童委員委嘱状伝達式に出席［議長］
４日　新見市婦人連合協議会大会並びに新見市市民運動推進協議会大会に出席［議長］
７日　本会議（一般質問）／議会運営委員会
８日　本会議（一般質問）
12日　いぶきの里スキー場オープン安全祈願式に出席［副議長］
総務消防常任委員
13日　文教福祉常任委員会
14日　産業建設常任委員会
15日　予算決算常任委員会
16日　議会広報特別委員会
17日　2022駅前イルミネーション点灯式に出席［議長］
19日　議員定数等検討特別委員会
議会改革推進会議
20日　議会運営委員会
21日　議員全員協議会／本会議（閉会）
23日　新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席［議長］

市民の声

新見市議会は、市民と議会を結ぶ「議会だより」を発行しています。定例会ごとに議会と議員の動きや発言などを載せ、多くの皆様に議会を知っていただきたい、読んでいただける議会誌を目指し、紙面づくりに取り組んでおります。

今号から「市民の声」コーナーを新設しました。担当議員が皆様の元に出向き、インタビュー形式でご意見要望等を伺いました。

Q「議会だより」の感想は

毎号読んでおり議会の内容がよく分かる。最近は文字も大きくなり読みやすくなった。ただ、「議長等の活動報告」は余り必要性を感じません。

Q 議会への要望を

一般質問の執行部答弁を聞いていると、下を向き原稿を読んでいるだけ。もっと緊迫感のある、丁々発止のやり取りを期待します。

Q 市政への意見要望は

何かにつけ職員の対応が遅れている。トップも含めもっと地域に出向き、地域の実情を踏まえたきめ細やかな対応を求めたい。周辺部に住み、高齢者になると、移動手段として公共交通が頼りで拡充を急いでほしい。「げんき広場にいみ」を充実させ、健康長寿のまちづくりが必要と思います。また、高齢になり、道路愛護会の草刈りも人を頼んでいる。草刈り単価を上げてほしい。

Q 新見市の将来について

新見美術館は見晴らしが良く、移転整備には反対します。何より、新見駅周辺の整備開発も必要だが、同じように周辺部に力を入れてほしい。

（千屋・70代）

ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内
議会広報紙編集係

〒718-8501
新見市新見310-3
電話 0867-72-6151
FAX 0867-72-6183

メール
gikai@city.niimi.lg.jp

編集後記

まちの中に、イルミネーションが点灯され、年末の慌しさを和らげています。

1年を振り返ると、昨年は地元高校生が頑張った年でした。ソフトボール部、eスポーツ部の活躍、全国和牛能力共進会での優等賞4席入賞、ドキドキショッパーズの開催、新見高等学校の主権者教育が研究報告としてとりあげられるなど、各方面で活躍が注目されました。高校生の若い力に期待が膨らみます。

さて、市議会だよりが、今号で発刊第20号となります。第1号を作られた皆さんの思いは繋がっているでしょうか。その思いを引き継ぐとともに、新しい企画にも取り組んでいきます。そこで今回から、地域の皆さんの声を紙面でお届けする「市民の声」のコーナーを新設しました。皆さんのところにもお伺いすることがあるかもしれませんのでよろしくお願いします。

この号が発刊される頃には、新しい年が始まっています。少しでも世の中が落ち着きを取り戻し、皆さんが笑顔になれるよう願いながら、第20号の編集を行いました。

（林　司朗）